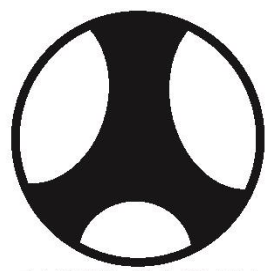


心のソーシャルディスタンスは取りません！



BUNRI GAKUIN

# 文理学院

夏の学習、間に合います。「夏の体験授業」受付中！

## 「新型コロナウイルス、世界を席卷する！」

未来の教科書にもきっと掲載されるであろう大事件から 2020 年はスタートしました。

公教育現場では 3 月～5 月の約 3 か月間、授業はもちろん、子どもたちにとっての人生の一大イベントである「卒業式」も例年のようには執り行うことができませんでした。生徒本人はもちろん、そのご家族のみなさん、学校の先生方の気持ちを考えると、本当にいたたまれない「沈黙の春」となっていました。

地域の私教育に携わる私たちにも大きな影響がありました。

3 月から 4 月中旬は感染予防対策を講じながら分散授業を行ってまいりましたが、全国への緊急事態宣言発令などを考慮し、それ以降の約 1 ヶ月は「オンラインでのライブ授業」で塾生たちの指導を行いました。全社一丸、ほんの数日で設備・環境を整え、4/20 (月) 静岡市内 5 校舎での配信を皮切りに、静岡県・山梨県全 33 校舎を「オンラインでのライブ授業、自習室&質問対応」に切り替えていきました。「絶対に教育を止めない」という決意の下、ゴールデンウィーク期間中にも教育を止めることはありませんでした。

結果として、休講や一方的な映像授業配信ではなく「生徒と教師がライブでコミュニケーションを取りながら授業を行うことができたこと」は、あの緊急事態を考えれば正解であったと振り返ります。実際、塾生・保護者の皆様からは大変多くの感謝のお言葉をいただきました。

## 「コロナ禍に対して私たちができることは？」

経済も混乱を極める中、私は「企業として何かできるのか」を毎日のように自問自答していました。

結論から書けば①塾生の夏期講習関連費用を全て無料とする、②塾生以外の受講生の夏期講習費用をできる限り抑え低料金で提供する、ということです。

コロナの影響で職を失ったり、収入が減ったりしているご家庭が少なくありません。そのような家計が厳しい状況でも、受験生を抱えるご家庭を中心に「そろそろ学習塾に通わせたい」、「夏期講習へは行かせたい」とお考えの保護者の方もたくさんいらっしゃると思います。

正直に書けば、この春先は新年度生募集においてコロナの影響があり苦戦しました。それでも「私たちが地域の私教育に携わる人間としてできることがあるはずだ」と考え、経営陣満場一致で上記の対応を決定したわけです。

## 「忘己利他の精神」

“自分の利益は後回しとし、他人のために尽くす”という「忘己利他」(もうこりた)の心は私を含む文理学院の社員に備わる「不変・不偏の精神」であると信じています。特にこのような状況下では、困っている人たちのためにできる限りのことを、汗をかいて行うということは、人として、地域にお世話になっている企業として当然のことです。

この話の延長で書いておきたいことは、文理学院は SDGs の活動にも積極的に参加しています。その活動の一環で、この夏は地域の「子ども食堂」に寄付をします。これは今年の 2 月頃から個人的に考えてきたことですが、子どもたちに接する仕事に携わる弊社として子どもたちの貧困の問題を看過できないためです。具体的には社員の有志からの寄付と夏期講習受講費用の一部を充当します。生徒諸君は文理学院の夏期講習に参加することで SDGs の活動、子ども食堂への寄付に参加できるということです。

\*\*\*\*\*

この文章を全てお読みいただき、一番上のタイトル「心のソーシャルディスタンスは取りません」の意味が見えてきたと思います。

どんな状況においても、子どもたちに寄りそう気持ち、塾生・保護者のみなさんに寄りそう心を常に持ちながら、これからも文理学院らしい私教育を進めて参りたいと思います。

(株) 文理学院 代表取締役社長 小倉 勤



夏休み期間短縮の影響でしょうか、今年は次のようなお声を多くのご家庭からいただいています。「夏期講習へは途中からでも参加できる?」、「夏の体験授業はないの?」そこで、今年はそのようなご要望にお応えしたいと思います!文理学院を少しでも体験してみてくださいね!!  
※詳細は裏面をご覧ください。



社長ブログへ QR コードからアクセス!  
文理学院の教育理念、社長の考え方  
子どもたちや大人へのメッセージ満載!

\*\*\*\*\*